

こたえ 金のたまごをうむにわとり

基礎①

金のたまごをうむにわとり

(イソップの話)

ある農家に、毎朝一つずつ、金のたまごをうむにわとりがいました。

主人は、毎日たまごを売って、少しずつお金持ちになっていきました。

けれども、主人はだんだん、一日一つではもの足りなくなってきました。

「にわとりのおなかの中には、金のたまごがたくさんつまっているにちがいない。いっぺんに取り出せば、すぐに大金持ちになれるぞ。」

そう考えた主人は、にわとりのおなかを開いてしまいました。ところが、中には金のたまごなど一つもありませんでした。

主人は、毎日の金のたまごまで、なくしてしまったのです。よくばったせいで、何もかもうしなってしまうました。

1 にわとりは、毎朝何をうみましたか。

金のたまご

2 主人がもの足りなくなったのは、どうしてですか。

ア たまごが小さくなったから。

イ 一日一つでは少ないと思ったから。

ウ にわとりがなくなかったから。

3 主人は、にわとりのおなかの中に何がつまっていると思いましたか。

金のたまご

4 さいごに、主人はどうなりましたか。

ア 大金持ちになった。

イ 毎日の金のたまごまでなくした。

ウ にわとりがふえた。